

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」高田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		パーティションで支援スペースを区切り落ち着いて支援を受けられるようにしています。	利用者様の特性に合わせた環境設定を行うようにしています。
	②	職員の配置数は適切である	4		加配指導員の配置を行っています。	法令で必要とされる配置数に加え、指導員または保育士を1名以上配置しています。今後も法令を遵守した職員配置をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		支援時に邪魔にならないよう掲示物や設備の配置に配慮しています。	利用者様が安全に活動できるよう日々確認をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃を行い、環境整備しています。	今後も安全で清潔な空間で支援が行えるようにしていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		会議や日々の打合せを通して業務改善を進めるようにしています。	今後も全職員で業務改善を進めていけるようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		定期的な評価の実施と講評を行っています。	保護者様へのアンケート結果を職員で確認し、業務改善に役立てられるようにしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		定期的な評価の実施と講評を行っています。	HPで公開し、事業所内に掲示しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		通常外部講師の巡回訪問がありますが、今年度は未実施です。	通常外部講師の巡回訪問がありますが、今年度は未実施です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	発達支援研究所の定例研修等に参加しています。	定期的に研修を行い、資質の向上を目指しています。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		統一したアセスメントシートを使用しています。	計画期間ごとにアセスメントを行い、ニーズに合った計画を作成するようにしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		統一したアセスメントシートを使用しています。	計画期間ごとにアセスメントを行い、ニーズに合った計画を作成するようにしています。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		必要な項目を選択し、支援時の状況や保護者からの情報をもとに支援内容の設定を行っています。	アセスメントに基づいて個別支援計画を作成し、少なくとも6か月ごとにモニタリングを実施しています。今後も利用者のニーズを考慮し、適切な支援計画を作成していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		支援計画に沿った支援ができるよう計画実行しています。	支援記録を作成し、共有することで次の支援につなげています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		当日の担当職員だけでなくお互いに相談や検討しながら行っています。	日常的に支援状況の共有を行い、プログラム作成に役立てるようにしています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		職員間の話し合いを頻繁に行い、利用者様の状況に合わせて支援内容を工夫しています。	今後も職員間で情報共有し、支援内容を工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		月に1度小集団療育を行っています。	個別・小集団療育それぞれにおいて利用者様の状況に応じた支援をしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	支援当日に打合せの時間が設定できない場合は口頭で情報交換できるようにしています。	日常的に利用者様の支援について情報交換し、共有できるようにしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4	支援終了後に支援記録を記入しながら情報共有するようにしています。	日常的に支援に関する情報交換をするようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		支援記録を職員間で確認しています。	支援内容を共有しで支援の継続性を考えて内容を検討し改善しています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		6か月ごとにモニタリングを行っています。	今後も定期的にモニタリングを行います。	
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達支援管理責任者が参加します。	該当する利用者様の情報を事業所内で共有し、その内容を伝えられるようにします。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	子ども・子育て支援等の関係者と情報交換する機会を持つようにしています。	自立支援協議会の会議等を通して関係機関との連携を深めていけるようにします。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	現在医療的ケアが必要な利用者様はいらっしゃいません。	

連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	現在医療的ケアが必要な利用者様はいらっしゃいません。		
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	希望がある利用者については幼稚園、保育園との連携を行っています。	今後も希望される方にはその都度連携を行い、情報共有をしていきます。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	保護者様との就学に向けたお話は必要に応じてさせて頂いています。	希望される方にはその都度連携を行い、情報共有をしていきます。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		1	3	児童発達支援管理責任者が自立支援協議会で研修を受けたり他事業所と関わりを持っています。	今後も研修の機会を得て、支援に活かせるようにしていきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		児童同士の交流は実施していません。	現在行っていませんがニーズがあれば検討していきます。
保護者への説明責任等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3	1	港北自立支援協議会に参加し、地域の情報等を得て支援に活かせるようにしていきます。	今後も地域の情報を得て、支援に役立てられる様にしていきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		4		フィードバック時にお話をうかがい課題等について共通理解できるようにしてします。	必要とされる方には事業所内相談支援を行っていただけるようお声かけをしています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3	1	ご希望に応じて行っています。	ご希望があれば相談支援の際にペアレントトレーニングを行うことがあります。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		4		契約時に説明を行っています。	今後丁寧な説明を心がけていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		4		支援計画の内容を説明し、保護者の同意を得ています。	今後も児童発達支援ガイドラインに沿って支援計画を作成し保護者の同意を得ていきます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		3	1	フィードバック時や事業所内相談支援時に助言と支援を行うようにしています。	今後も利用者のニーズに合わせて助言および支援していきます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4		現在は行っていません。希望がある場合には検討していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、		4		相談・申し入れについては迅速に対応できるようにしています。	今後もニーズに合わせて迅速に対応していきます。

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している					
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		お便りやホームページ等で活動内容等を紹介しています。	今後もお便り、ホームページ、掲示物等で情報発信します。	
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		日常的に個人情報の取り扱いについて職員間で話をするようにしています。	今後も個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うようにします。	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		保護者と職員間で情報を共有し情報伝達の方法について工夫しています。	今後も児童の状況に応じて意思疎通、情報伝達の手段を工夫していきます。	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	事業所の行事としては現在行っていません。	現在は特に行っていません。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		教室内にマニュアルを用意し、いつでも見られるようにしています。	定期的に研修や訓練を行っています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に訓練を行い、地域についての情報も得られるようにしています。	今後も定期的に訓練を行います。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		服薬について契約時に保護者に確認しています。	てんかん発作時の様子等について確認するようにしています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	アレルギーの有無については確認させていただいていますが、食事の提供はしていません。	アレルギー物質については接触がないよう留意しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハットについて記録を残し、職員間で情報を共有しています。	今後もヒヤリハットの状況について確認し、事故が起きないようにしていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	虐待防止研修を定期的に行っています。	今後も継続して虐待防止について研修し適切な対応をしていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	身体拘束について契約時に説明しています。	身体拘束の必要がある場合は個別支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」高田 校 保護者等数（児童数）：8 回収数：7 割合：87.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	2		現在行っていませんがニーズがあれば検討していきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	1	2	3		ご希望があれば相談支援の際にペアレントトレーニングを行うことがあります。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1				フィードバック時にお話をさせて頂いています。ご希望があれば相談支援の際にペアレントトレーニングを行うこともあります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		2	4		現在は行っていませんが、希望がある場合には検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6			1		お便りやホームページ等で活動内容等を紹介しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6			1		日常的に個人情報の取り扱いについて職員間で話をし、取り扱いについて細心の注意をはらうようにしています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	1				教室内にマニュアルを用意し、いつでも見られるようにしています。定期的に訓練も行っています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1		1		定期的に訓練を行い、非常災害の発生に対応できるようにしています。また、地域についての情報も区役所等を通して得ています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。